

# 決算公表

## 平成 19 年度 まちの財政状況と 私たちの税金の使い道

平成 19 年度一般会計決算と 17 の特別会計の決算が大山町議会 9 月定例会で、4 つの財産区特別会計が大山町財産区議会で認定されました。

### 主な投資的事業

情報通信基盤整備事業	29,761 万円
中山小学校耐震補強及び大規模改修事業	26,343 万円
大山中学校技術棟改築事業	14,523 万円
県営畑地帯総合整備事業	11,398 万円
臨時交付金事業（文珠領線、赤坂東線、種原大野線ほか）	11,102 万円
御崎漁港整備事業	6,340 万円
大山恵みの里づくり計画推進事業	5,423 万円
農地農業用施設災害復旧事業	5,165 万円
御来屋漁港整備事業	4,572 万円
町道報国羽田井線道路改良工事	3,841 万円
消防ポンプ車購入	3,694 万円
退休寺集会所建設事業	3,000 万円
公共土木施設災害復旧事業	2,224 万円

一般会計決算は、歳入総額 102 億 8,315 万 5,044 円に対し、歳出 99 億 4,162 万 9,656 円、翌年度への繰越額 3 億 4,152 万 5,388 円。予算総額に対する執行率は 95.6% でした。

平成 19 年度には、中山小学校耐震補強及び大規模改修事業、大山中学校技術棟改築事業などを行いました。18 年度に行った情報通信基盤整備事業、名和小学校建設事業などの大型事業の終了により、平成 18 年度と比較すると、約 26 億 2 千万円、20.8% の大幅な減となりました。

また、21 の特別会計の総計では、歳入総額 82 億 5,546 万 563 円に対し、歳出総額 80 億 2,395 万 9,449 円で、予算総額に対する平均執行率は 96.6% でした。

## 昨年のお山町子さんの家計簿

お山町の平成 19 年度一般会計決算を 2000 分の 1 にしてお山町子さんの家計簿にたとえると…。

町子さんちの昨年の生活費は 497 万円。前の年（平成 18 年度）に比べて 147 万円も生活費が削減できました。本業での収入（町税収入）は、前の年（平成 18 年度）に比べて 7 万円増えましたが、たったの 79 万円。アルバイト収入（負担金や使用料などの自主財源）も昨年の約 2 倍となりましたが 42 万円。合わせて昨年、夫婦で稼いだお金は 121 万円でした。足りない部分は、都会に住んでいる親（国）からの仕送り（地方交付税・譲与税など）や借金（町債）、貯金をおろして（繰入金）やりくりしました。昨年の親からの仕送り（地方交付税・譲与税など）は、262 万円。また、兄から援助金（国庫支出金）の 30 万円と、姉から援助金（県支出金）31 万円をもらいました。

しかし、車の購入（普通建設事業）などにあてるため 65 万円を借金（町債）しました。これまでも、住宅や車庫の新築などを借金で購入していたため、現在の借金残高は 622 万円。前の年の借金は 640 万円で、18 万円減らすことができましたが、現在も生活費 1 年以上の借金があります。貯金は、こどもの学費（特別会計への繰出金など）のために昨年は 6 万円（繰入金）をおろし、こどもの将来のため 18 万円（積立金）を貯金して、12 万円増やすことができ、現在 123 万円になりました。

今後の生活も、本業の収入の増加も見込めないため、食費などをさらに節約し、借金をはやく返して生活することが必要です。

## 町民 1 人あたりに 使われたお金

（一般会計）

**528,529 円**

（平成 20 年 3 月末人口  
18,810 人で計算）

議会費	5,933 円
総務費	88,830 円
民生費	103,739 円
衛生費	44,847 円
農林水産業費	61,712 円
商工費	13,569 円
土木費	39,719 円
消防費	18,564 円
教育費	62,570 円
災害復旧費	4,569 円
公債費	84,477 円